

組織現勢 (8月1日現在)

組合員数 20,198人
 出資口数 139,889口
 6・7月の新規加入 27人
 6・7月の増資口数 941口

No. 420 再生紙を使用しています。

城南の保健

発行所
城南保健生活協同組合
 本部事務局 大田区大森東4-6-15-101
 TEL (3762) 0266
 振込銀行 さわやか信用金庫大森支店
 口座 (普) 0469459
 発行 「城南の保健」編集委員会
 年8回発行・定価1部 30円



さまざまな健康づくりの取り組みをすすめます

城南保健生活協同組合第44回通常総代会が、大田区・アプリア

地域の要求に応える「誰もが安心して住み続けられるまちづくり」をすすめます
第44回通常総代会 6月22日(土)

コ展示室で行われました。お忙しい中お越しいただいた来賓・総代・評議員の皆さまに心よりお礼申し上げます。

当日は総代の皆さんに熱心に討議していただき、2019年度活動方針案、予算案など7号にもおおよぶ議案を賛成多数で採択することができました。今総代会を大きな力とし、地域における幅広い対話を進め、誰もが安心して住み続けられるまちづくり運動を広げていきたいと思います。

2面に発言要旨

支部からの夏便り2019

今年は、統計史上最も早かった昨年と比べて30日遅い梅雨明けでした。しかも、7月は記録的な日照不足となり、都心では17日連続で日照時間が3時間未満となったそうです。そんな中でしたが、各支部・各地域でさまざまな夏のイベントが行われました。



たくさんのおもちゃが来てくれました

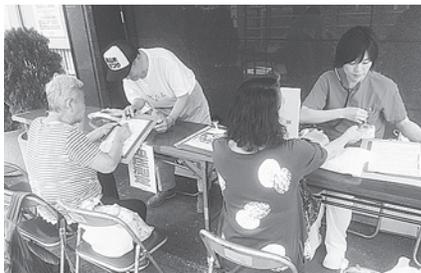
なかしんまつり

7月20日(土)、大森中診療所裏の公園で、第14回なかしんまつりを開催しました。
 今年は梅雨明けが遅れていて雨が心配されましたが、なんとか降らずに済みました。
 お祭りの開始から続々と親子連れで公園はにぎやかになりました。大森中診療所の看護師さ

全国鶴の木まつり

全国の「鶴の木」という地名を持つ地域が大田区鶴の木に集う「全国鶴の木まつり」が7月17日・21日に開催されました。今年で31回目を迎えます。

今年も救護所として、20日に生協鶴の木・雪谷支部、うのぎ診療所、けいひん訪看STUのき営業所がまつりをバックアップし、健康チェックと骨密度測定も行い盛況でした。当日は曇り空でしたが、大田区鶴の木駅前はたいへん賑わいました。



健康チェックは21人でした

西品川支部反核フェスティバル

西品川支部と三ツ木診療所の共催で毎年開催している反核フェスティバルを7月27日(日)に行い、36人が参加。台風の影響で例年比べると参加者は少なめでしたが、中身はコカリナ演奏やフラダンスにマジック、さらに参加者全員で歌ったりと盛りだくさん。組合員さんが用意してくれた手料理を食べながら楽



核兵器のない世界の実現を願って

しみました。そして、三ツ木診療所グループの職員による朗読は、この催しにはぴったりの内容で、参加者一同、聞き入っていました。
 今年は西品川支部から原水禁世界大会の代表派遣はしませんが、世界大会に参加する地域の高校生が参加し、カンパを訴えました。

第35回 大田品川健康まつり

10月27日(日) 戸越公園で開催

第35回 大田・品川 健康まつり

入場無料 なたでも参加できます

憲法を活かし安心・安全の医・福・食・住と平和について一緒に考えてみませんか?

フードドライブ 寄付食品の募集

10月27日(日) 10時30分~15時

今年も会場は 戸越公園

大田・品川健康まつり実行委員会
 大田区大森東4-6-15-101 城南保健生活協同組合内
 TEL 3762-0266 FAX 3762-0239

今年の戸越公園で開催。当日は、健康チェックコーナー、舞台でのパフォーマンス、東京南部生協の産直コーナーもあります。出演者・模擬店の出店など募集中ですので、実行委員会までお問い合わせください。

豪華な景品が当たる福引付き賛助券は1枚200円です。5枚連番で買えば、何かが必ず当たります。賛助券のご購入にぜひ協力ください。

城南ドルフィン夏季合宿



今年もたくさんがんばったぞ!

水泳サークル城南ドルフィンの水泳合宿は、7月20日~21日の日程で行いました。参加は46人で、相模原市にある水泳合宿所「桐花園」に行きました。今年も時期が早く、梅雨が明け前まで気温が上がらない中、みんな頑張って泳ぎました。泳ぐ時間は2日間で8時間、2日目の早朝練習は早い子で5時から練習をしました。

キャンプファイヤーや川遊び、スイカ割りなどお楽しみ企画も予定通り行いました。協力していただいた保護者の皆さん、コーチの皆さんありがとうございました。
 子どもたちは寒中、よく頑張った! 来年も参加待っています!



来場者みんなで品川音頭を



健康チェックコーナーは大人気

腹八分

天候不順、時に長雨、時に猛暑が日本列島を襲い、その中国政選挙が行われ、結果はいろいろだが、歴史的な低投票率、とりわけ10代の若者の3人に1人しか投票所に足を運ばなかったことが、社会的な問題になりました。ウソ、改ざん、隠ぺい、忖度。こんなおとな社会の混乱ぶりに、若者たちは投票欲を失ったのだと、マスコミは評論しました。▼はたして若者たちは、世の中を変えようとする思いを本当になくしてしまったのだろうか。でも、一方で、10代、20代の若者たちの目覚ましい活躍が連日報道されている。スポーツの世界でも、囲碁将棋の世界でも、そして、文学の世界でも、おとなを圧倒する活躍が次々に伝えられている。そればかりではない。人類を破壊に追いやる核兵器を廃絶させる運動、戦争をさせない世界をめざす憲法を守る運動でも、彼らは街に出て、しっかりと自分たちの声で訴え続ける。もしかしたら、彼らの低投票率は、おとな社会に対する精いっぱい抵抗のしるしなのかもしれない。▼こんな若者たちの未来を阻もうとする勢力がある。ウソ、改ざん、隠ぺい、忖度の勢力である。若者たちがせつ々しく自らの意思で築き上げてきた制服、髪の毛の色に難癖をつけ、かつてのように従順で、国家というしがらみに縛り付けようとする目論みがある。だけれども若者たちはもう知っている。自分の足で歩みはじめた道こそ未来があることを。おとなは若者に学ばなければならぬ。